

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3770103723		
法人名	医療法人社団青冥会		
事業所名	認知症高齢者グループホーム第六若葉荘		
所在地	香川県高松市三谷町4551番地6		
自己評価作成日	令和5年10月25日	評価結果市町受理日	令和6年3月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設の周辺にはのどかな田園風景が広がっており、静かな環境である。花や野菜を栽培しており、収穫した野菜を料理に使ったり、天気の良い日は外に出て花を見たり、のんびりとした時間を過ごされている。また、レクで手作りおやつ(おはぎ、パンケーキ、たこ焼き等)などを作って提供している。
近くに協力医療機関があり、連携体制が整えられている。介護度の高い方も医療機関と連携し、個々の状態に沿った支援を行っている。

基本情報リンク先	
----------	--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点】

法人の病院から山の手に入ると、小高い丘陵地に隠れ里のような平屋の事業所がある。周囲には民家や野菜を植えた農地が広がり、静かな環境にある。事業所では天気が良いと、外へ出て外気浴などが行われている。感染症予防のために、屋内での活動も多い中、常に音楽やDVDを使い音が流れているなど配慮がなされており、利用者は伸び伸びとした時間を過ごされている。食事以外にも、職員と一緒に手作りおやつなどを作り楽しませている。職員はみな仲良く、笑い声が絶えない明るい職場である。誰もが利用者に対して丁寧に応じており、落ち着いた雰囲気を持つ事業所である。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アストリーム・アライアンス		
所在地	香川県さぬき市津田町鶴羽2360-111		
訪問調査日	令和5年12月7日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	目につく場所に理念を掲示しており、日々の生活の中で理念に基づいた介護の実践を行っている	法人理念は掲示されており、理念に基づいた各ユニットごと実践の目標と合わせて職員間で共有されている	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍のため面会制限もあり、交流がなくなっている	地域の井出清掃や美化活動等参加されている。地域の行事も徐々に再開されており、感染予防をしながら参加が検討されている	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で地域の方や民生委員の方に出席していただき、入居状況を説明し、支援方法について話し合い、助言をいただいている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で民生委員や市の方々から地域の情報をいただき、サービスの向上に活かしている	運営推進会議は民生委員2名、家族や利用者が参加されている。事業所から、利用者や職員の状況、サービスの取組み状況などが報告されている。地域でのイベント情報などで得た情報は、その後の活動計画やサービスの向上に活かされている	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	分からない事があればすぐに連絡を取り、相談を行っている	地域包括支援センター職員等に事業所の取組み状況を把握してもらうとともに、介護の時事情報の交換やケース検討等を通じて、協力関係が構築されている	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所全体として身体拘束を原則禁止している。定期的な研修を行い参加している。3ヶ月に1回身体拘束対策委員会を行い、身体拘束について話し合っている	定期的な研修や委員会活動を通じて、拘束についての理解の深まりや、拘束しないケアについての検討がなされている。事業所では、拘束にあたる行為を原則禁止としており、見守りや代替ケアにて対応されている	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内研修に参加して、自己啓発に努めている。常に職員間で話し合いをして、見守りを十分に行い、見過ごさないように注意を払い、防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人の方と連絡を取り合い、入居者の権利が損なわれないよう支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項の説明等を十分に行い、不安や疑問点を確認して理解を得ている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者には日々の生活の中で話を聞き、家族の方には面会や電話時に意見や要望を聞き、それらを反映するよう努めている	利用者からの要望等は、日々の暮らしの中会話等から、汲取られている。また、家族会は、コロナの影響で休止中であるが、毎月利用者状況が、写真付きで報告されており、電話等での情報交換もなされている。得られた意見や要望は、上申や検討がなされ対応されている	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営については管理者会議や職員の意見を提案できる機会を設け、反映するよう努めている	現場で気付いたらすぐに処遇会議を行い、職員同士はグループラインで情報の共有が適宜なされている。職員からの意見や提言は、管理者会議等にて上申がなされている	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員が働きやすくやりがいがあり、各自が向上心を持って働けるように賞与等に反映したり、就業規則の見直しを行い、働きやすい環境作りに努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内研修は、外部より講師を招いて毎月行っている。外部研修は参加を勧めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での交流はあるが、外部の同業者については交流はできていない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人との話の中で不安や要望等を聞き、安心を確保するための関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とよく話し合い、困っていることを聞き、不安や要望等に耳を傾け、関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族と話し合い、まず必要としている支援の対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者から昔の生活の知恵などの助言をいただきながら、職員とともに簡単な家事などを行っている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が面会に来られた時に状況等を報告し、支援策をお互いに話し合っている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会は、玄関で時間を制限して行っている	感染症の影響により、面会に事前の予約や時間の短縮など制限はあったが、緩和の方向にある。家族の要望により携帯電話やスマートフォン等による会話の支援なども行われており、馴染みの関係が途切れないよう支援がなされている	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の要望などを聞き入れ、利用者同士がうまくコミュニケーションが取れるよう声かけを行っている		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者が退居された場合は、必要に応じてご家族と連絡を取り合い、相談や支援に努めている。ご家族の要望に応え、安全な情報開示に努めている			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常にコミュニケーションを取り信頼関係を築き、困難な方は表情から汲み取り、利用者の暮らし方の希望、意向の把握に努めている	出来るだけ本人の好むような暮らしとなれるよう、日頃の様子や表情の変化に留意しながら支援が続けられている。本人の意思を妨げず、自由に任せることで、利用者が主体で、活動的に過ごされている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から話を聞いたり、本人から可能な限り話を聞いて、一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らしに近づけるよう努めている			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	できるだけ一人ひとりが、自分の意思のもとで一日一日を過ごせるよう支援に努めている			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居時に本人を交えご家族等の要望を聞き入れたうえで介護計画を作成し、必要に応じてその都度見直しを行っている	入居時の面談や計画の変更時に本人や家族等の要望が確認されている。職員は毎月の研修時にはケースを持ち寄り、計画について話し合いが行われている。介護計画書は皆の意見を集約して、ケアマネジャーが作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や状態を詳しく介護記録や申し送りノートに記入し、情報を共有し意見交換をしながら見直しに活かしている			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズに対して、関係者間で話し合いながら支援に取り組んでいる			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍のため地域のイベント等も中止となった		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回定期受診を行っている。急変時や体調不良時など医師に相談し、受診の指示を仰いでいる。また、できるだけ本人、ご家族の希望する病院に受診できるよう努めている	かかりつけ医との連携は良く、緊急時にも24時間の対応も行ってくれている。日々のバイタルチェックや看護職員の巡回、月1回の検診にて、異変に早急に対応できる体制が構築されている	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、看護師が訪問に訪れて利用者の状態を見て確認している。利用者の状態を相談し、アドバイスや指示を頂いている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際、時々面会に訪れ状態を把握するよう努めている。医師、看護師に話が聞ける体制ができている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化等、状態に変化が見られるようになった際は、ご家族に連絡し相談しながら、できるだけ支援ができるよう病院と連絡を取っている	入所時に重度化についての説明が行われている。出来るだけグループホームで長く過ごせるよう医療面との連携がとられている。看取り期になると医師や家族等が話し合いながら、入院対応がなされている。本人や家族の希望により最期までグループホームで過ごされた例もある	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練は行っていないが、協力病院とすぐに連絡を取り、指示を仰げる体制づくりができている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防火訓練を行っている。非常食、非常用の水、停電時の非常用電源を用意している。毎月、グループ全体でBCP会議を行っている	年2回避難訓練が行われている。太陽光による自家発電装置も備えられている。倉庫には非常食や水・日用品が備蓄されている。グループ全体でBCP会議も毎月実施されている	地域密着型の事業所として、運営推進会議等をつうじて、地域との災害時相互協力関係の構築や、合同訓練の実施等より防災力の高い事業所、地域づくりへの寄与に期待します

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊敬の気持ちを持って接し、個々の人柄を尊重し、言葉遣い等に気をつけるよう心掛けている。	利用者を人生の先輩として敬意をもって接している。利用者と家族との関係に配慮しつつ、グループホームでの暮らしが穏やかに過ごせるよう温かく見守っている	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者一人ひとりに話しかけ、傾聴し、表現や自己決定ができる雰囲気を作るなどの支援をしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本は事業所の一日の流れによるサービスを行っているが、できるだけ本人の希望に添えるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洗髪、髭剃りの介助など、常に清潔な状態が保てるよう支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みに応じてご飯にふりかけやのりをかけたりしている。お膳拭きなど簡単な手伝いをしてもらっている	ご飯やお汁はユニットで作し、おかずは業者の献立を利用している。リビングには次の食事が写真付きで掲示される工夫がなされている。レクリエーション活動での手作りおやつが好評、たこ焼きやおはぎ・ホットケーキなどを皆と一緒に作り楽しまれている	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月1回の定期受診時に医師、栄養士のアドバイスをもらい、栄養状態に注意を払っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必要な方は週1回訪問歯科を利用している。個々の口腔ケアについては、歯科医にアドバイスをもらい実践している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、尿意のない方もトイレ誘導し排泄を促している。時間や習慣を職員全員で把握し、声かけを行っている	座位保持の困難な方を除き、声掛けやトイレ誘導、排泄時の介助により、トイレでの排泄が支援されている。職員は利用者の時間や習慣を把握しており、スムーズに誘導ができています	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を使用し、水分補給や食事面での工夫をしたり、内服薬等で排便がスムーズになるよう取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の意向が尊重できる範囲で入浴日、入浴時間を取り決め実施している	入浴実施日は週5日に設定。特浴の利用者が増えており、一般浴と並行して行われている。入浴の時間等は、利用者の希望を聞き、決められている。体調不良や受診、行事により臨機応変に変更対応がなされている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望を聞き入れ、個々の体調や状況によりその時々に応じた入眠ができるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬情報をカルテにファイルしており、変更になった場合目的や用途を申し送りしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を発揮してもらえるよう個々の趣味や能力を把握し、季節に合ったレクリエーションなどの支援をしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍のため外出支援はできていないが、玄関前の花壇で季節の花を見て日光浴を行っている	玄関側に花壇があり、天気が良いとイスに座り外気浴や散歩をすることが出来る。コロナ等予防のため、外出には車窓越しに季節の景色を楽しむ程度の実施となっている。本格的な外出は検討中である	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は事務所で管理している。利用者が希望すれば一緒に買い物に行き、個々で購入できるように支援している。現在はコロナ禍のため、職員が希望の物を買っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話や手紙など取り次ぎしている。本人の希望があれば事務所で電話するなど支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れた花や写真、絵などを飾っている。馴染みのある音楽やビデオをかけて、居心地よく過ごせるようにしている	見晴らしの良い場所で四方が明るく風通しの良い平屋の建物となっている。リビングでは思い思いに体操したり、ドリルをしたり、馴染みの音楽が流れるなど、居心地よく過ごせるよう配慮されている	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の場所は決まっているが、レクリエーションや利用者同士が話をする時は、自由に動けるよう工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の使い慣れた物や写真を飾るなどして、居心地良く過ごせるよう工夫している	居室にはベッドとキャスター付きでテーブル代わりに使用できる整理筆筒、イスなどが備わり、テレビや使い慣れた物を部屋に持込んで、ゆっくり落ち着けるようにそれぞれ工夫がなされている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自身で移動できる方は、トイレに近い居室にしている		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価結果

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
I. 理念に基づく運営			
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日に付く場所に理念を掲示しており、日々の生活の中で理念に基づいた介護を実践している
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事などに参加したり慰問などを行っていたが、ここ2年間はコロナ禍のため交流できていない。今後再開していきたい
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の時にご利用者の状況を説明し、支援方法についても話し合い、助言をいただいている
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で民生委員や市の方々から地域の情報をいただき、サービスの向上に活かしている
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議での連携が中心となっており、わからない事があればすぐに連絡を取り相談している
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は常に開放している。職員の見守りが手薄な時間帯のみ、ご家族に理解していただき施錠している
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内研修等に参加をして意欲の向上に努めている。常に職員間で話し合いをして見守りを十分に行い、見過ごしがないように注意を払い防止に努めている

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人の方とは密に連絡を取り合い、ご利用者の権利が損なわれないよう支援している
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項等を十分に説明し、不安や疑問点を確認して理解を得ている
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者には日々の生活の中で話を聞き、ご家族には面会時に意見や要望を聞き、それらを反映するよう心掛けている
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営については管理者会議、職員会議を行い、職員の意見を提案できる機会を設け反映するよう努めている
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員が働きやすく各自がやりがいや向上心を持って働けるよう、賞与等に反映している。就業規則の見直しを行い、働きやすい環境作りに努めている
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内研修の参加を呼びかけ、外部研修の参加は要綱を見てその都度参加を勧めている
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内での交流はあるが、外部の同業者については交流できていない

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人との話の中で不安や要望等を聞き、安心を確保するための関係づくりに努めている
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とよく話し合い、困っていることや不安、要望等に耳を傾け関係づくりに努めている
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族と話し合い、まず必要としている支援の対応に努めている。今はコロナ禍のため電話で話している
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族のような関係を保ち、事業所内で行えることは協力してもらい、支え合って良い関係を築けるよう努めている
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	今はコロナ禍でなかなか面会できない状況だが、電話で支援策をお互いに話し合っている
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で今は外出、外泊も厳しい状況だが、外出、外泊ができるようになれば、関係が保たれるよう努めていきたい
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の要望などを取り入れ、利用者同士が上手くコミュニケーションが取れるよう支援に努めている

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者が退居しても必要に応じてご家族と連絡を取り合い、相談や支援に努めている
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常にコミュニケーションを取り、信頼関係を築き、困難な方は表情からくみ取り、ご利用者の暮らし方の希望や意向の把握に努めている
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から可能な限り話を聞き、一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らしに近づけるよう努めている
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	できるだけ一人ひとりが自分の意思のもとで、一日一日を楽しく過ごせるよう支援に努めている
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居時にご本人を交え、ご家族等の希望を聞き入れたうえで介護計画を作成し、必要に応じてその都度見直しを行っている
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や状態を詳しく介護記録や申し送りノートに記入し、情報を共有し意見交換しながら見直しに活かしている
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズに対して、関係者間で話し合いながら支援に取り組んでいる

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の委員の方の情報により催事、行事に参加できるよう常に支援しているが、現在はコロナ禍のためできていない
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	協力病院と連携ができており、緊急時など適切な医療を受けられるよう支援している
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	毎週協力病院より巡回訪問に来ていただき、ご利用者の体調管理や職員からの相談に対応していただいている
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は、事業所でできる支援についてご家族や病院関係者に伝え、関係づくりを行っている
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご家族に連絡し相談しながら、できるだけ支援が行えるよう努めている
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時の対応はできている。常に対応の仕方は職員間でよく話し合い、実践力を身に付けている
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火訓練を職員全員が交代しながら定期的に行っている。地域、消防の方たちにも協力をお願いしている

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として個々の人柄などを尊重し、言葉かけなど常に気をつけるよう心掛けている
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者一人ひとりに話しかけ、表現や自己決定できるよう支援している
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所の一日の流れによるサービスを行っているが、できるだけ本人の希望に添えるよう支援している
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感などあまり気になさらない方にアドバイスしたり、できるだけおしゃれができるよう支援している
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みによる支援はできるだけ行っている。手伝いなどは簡単な事だけになっているが、できる方には見守りのもとでいた
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通しての水分量、食事摂取量は毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有している
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯みがきの声掛けを行い、個々の状態に応じて介助を行っている

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、時間、習慣を職員全員で把握し、声掛けを行っている
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を使用し、水分補給や食事の工夫は個々に応じた対応をしている
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりに合った入浴は十分に叶えてあげられないのが現状である
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、ご本人の生活リズムを乱さないよう、夜間はゆっくり眠れるよう支援している
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルを作成し、職員が見て分かるようにしている。服薬時は名前を確認して手渡し、服用できているか確認している
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を発揮してもらえるよう、お願いできそうな事柄をお願いしたりするなど支援している
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で戸外に出かけることができず、玄関先の花を見たり日なたぼっこをしたりしている。コロナが落ち着いたら戸外に出かけられるよう支援したい

自己	外部	項目	自己評価
			実践状況
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所で管理している方がほとんどで、買い物に行くときは自分で購入できるよう支援している
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族に電話をしたり手紙を書いたり、他のご利用者に聞こえない場所の提供など支援している
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	クリスマスや初詣、お祭りなど、コロナ禍でできなかったため、季節の花を飾ったりするなどして季節感を取り入れることができるよう工夫している
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに過ごせるような場所を工夫して増やしていきたい
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族が持って来た写真を飾るなど、本人が過ごしやすい居室になるよう工夫している
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人にとって「できること」「わかること」を追求し、状況に合わせて環境整備に努めている